

## 令和7年度 管理職総会 教育長訓示

令和7年度がスタートいたしました。

各学校園の管理職の皆様方には、平素より本市の保育・教育に多大なるご尽力をいただき、心より感謝しております。年度の始まりにあたり、教育長としての訓示をいたします。

今年度は第3期大阪狭山市教育振興基本計画のスタートの年となります。

思い返せば、第2期大阪狭山市教育振興基本計画につきましては、令和2年度から5年間の計画期間でありましたが、計画の初年度は、コロナ禍による市内の学校園、一斉休業という異例の幕開けとなり、正直、どうなるのかという不安もありましたが、皆さま方のご尽力によりまして、それぞれの目標に向け、様々な取り組みが進んだと思っております。

例えば、GIGAスクール構想によるタブレット端末の導入により、子どもたちの学習環境は大きく変わりました。さまざまな子どもたちの学びの定着や進度に応じた「一人ひとりを大切にする」指導にも、タブレット端末を効果的に活用することができたと感じております。

また、この5年間、特に「地域とともにある学校づくり」につきまして、コミュニティ・スクールを全小学校区に展開することで、学校・家庭・地域の連携が、大きく進んだと実感しております。

さて、話は戻りますが、今年度よりスタートする第3期教育振興基本計画は、一言で言いますと、「継承・充実・発展させる計画」になると思っております。

計画の根幹となります、基本理念「学びあい、つながりあい、未来に輝く人づくり」、そして、めざす子ども像「自分らしく、いきいきと学び、さやまを愛する子」につきましては、本市教育の進めていく大事な方向性として、変えることなく、継承してまいります。そして、第2期計画での成果や課題を踏まえ、第3期計画へ着実に引き継ぎ、充実、発展させていきたいと考えております。

特に、「地域とともにある学校づくり」のための重要な仕組みであります「コミュニティ・スクール」の全小・中学校での推進、また、地域と国際力を持った「グローバル人材」の育成について、重点的に取り組みを進めていきたいと考えております。

小中学校におかれましては、それらに向けて、英語学習や地域学習を様々なツールを

活用しながら系統立てて進めていただくようお願いいたします。

幼稚園やこども園、また、お忙しい中、お越しいただいている民間園においては就学前を担う役割として、引き続き、地域や校種間連携を意識した取組みを推進いただくとともに、市内小中学校の取組みについて、ご理解のほど、合わせてお願いいたします。

また、本日は大阪府立狭山高等学校の岡本校長にも参加いただいております。狭山高等学校は、地域の清掃などのボランティア活動、小中学校との交流、市の行事やイベントへの参加など、これまでも、地域に根差したさまざまな取組みを進めておられ、昨年度は「こども未来フォーラム」の際にも大変なご協力をいただきました。そして、令和8年度入学者選抜より「普通科」の新たな特色として「地域社会に関する学科」となり、今求められている探求的な学びを通して学校づくりを進めていく大事な1年となります。

教育委員会としてもコンソーシアムを通して、可能な限りのサポートをしてまいりますので、狭山高校におかれましては、本市の子どもたちへのさらな関わりをお願いいたします。

教育は常に変化していきます。教育委員会といたしましては、変化に臆することなく、今年度もさまざまな施策を打ち出してまいります。

この後、教育監より第3期大阪狭山市教育基本計画の重点や、今年度の中心施策について、いくつか紹介がありますが、どれも「さやまを愛する子」の育成に資するものだと自負しております。それぞれのお立場、それぞれの学校園の創意工夫で本市の将来を担うであろう子どもたちの学びと育ちの充実に努めてまいりたいと考えております。

令和7年度も管理職の皆さまと教育委員会の関係者が一体となり、本市の保育・教育がますます発展できますよう、ご奮闘をお願いいたしまして、私の年度初めの訓示といたします。

本年度も一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

令和7年4月2日

大阪狭山市教育委員会教育長 竹谷好弘